



各 位

平成 21 年 10 月 30 日

会社名 八 洲 電 機 株 式 会 社  
 代表者名 代表取締役社長 落 合 憲  
 (コード：3153 東証第2部)  
 問合せ先 取締役経営統括本部長 守 屋 昇  
 (TEL 03-3507-3349)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 6 月 25 日の東証上場時に「平成 21 年 3 月期決算短信」にて開示した平成 22 年 3 月期 通期の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正

(1) 平成 22 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 120,000	百万円 1,880	百万円 2,000	百万円 1,111	円 銭 59.90
今回修正予想 (B)	112,000	1,580	1,620	900	48.62
増 減 額 (B - A)	△8,000	△300	△380	△211	—
増 減 率 ( % )	△6.7%	△16.0%	△19.0%	△19.0%	—
(参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	129,370	2,101	2,221	1,203	66.74

(2) 平成 22 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 109,400	百万円 1,365	百万円 1,645	百万円 1,000	円 銭 53.92
今回修正予想 (B)	102,200	1,200	1,440	860	46.46
増 減 額 (B - A)	△7,200	△165	△205	△140	—
増 減 率 ( % )	△6.6%	△12.1%	△12.5%	△14.0%	—
(参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	119,185	1,557	2,234	1,479	82.05

## 2. 修正の理由

当社グループを取り巻く経済環境は、景気の悪化に一部回復の兆しが見られるものの、前回業績予想まで改善するには至らず厳しい状況で推移すると予想されることから、通期の業績予想を修正いたします。

### (1) システム・ソリューション事業

#### (生産システム)

鉄鋼分野の設備投資傾向は、投資の見直しによる影響はありますが、引き続きCO<sub>2</sub>削減および高効率化のための老朽化更新需要は見込まれ、鉄鋼システム製品等の売上は堅調に推移する予定であります。

一方、化学、製紙、精密・機械分野では、投資計画再開の兆しや量産品である生産材の在庫調整が進むものの、本格的回復には至らず依然として厳しい状況が予想され、当初予定を大幅に下回る見込みであります。

#### (社会インフラシステム)

運輸分野では、引き続き省エネ、環境問題を背景とした電車運行上発生する余剰電力を有効利用するための高効率化システム装置や、「安全・安心・サービス」をキーワードに、車両制御装置、車両電気品など鉄道関連システムが堅調に推移する予定であります。

空調・サービス分野では設備投資の抑制、建築着工の低迷に加え天候不順に伴う空調需要の落ち込みによる影響を受け、当初予定を大幅に下回る見込みであります。

#### (情報システム)

設備投資計画の延期は、再開される兆しが見えてきているものの、部分的であります。内部統制対応のセキュリティ分野・情報制御分野の本格的な回復の足取りは想定より鈍く、当初予定を下回る見込みであります。

### (2) 電子デバイス・コンポーネント事業

半導体市場は在庫調整も一段落し、緩やかではあるものの需要回復の兆しが見られつつあります。当社顧客においても需要の増加傾向は見受けられるものの、本格的な回復に至るには未だ不確定要素が多く、第3四半期以降は回復基調を予想しておりますが、第2四半期累計実績の落ち込み分まではカバーできないと予想され、当初予定を大幅に下回る見込みであります。

アミューズメント分野では、ゲームソフト用半導体メモリおよび表示パネル用液晶ディスプレイが顧客在庫調整に伴う一時的な影響があったものの、総じて堅調に推移する予定であります。

電子デバイス・コンポーネント事業は、民生分野よりも産業分野の顧客を基盤としており、需要の回復遅れにより当初予定を下回る見込みであります。

このような結果、通期の連結業績につきましては、売上高は1,120億円（前回予想比6.7%減）、利益面においては、積極的な粗利の確保および経費の圧縮に努めているものの、営業利益は15億80百万円（同16.0%減）、経常利益は16億20百万円（同19.0%減）、当期純利益9億円（同19.0%減）を見込んでおります。

また、個別業績につきましては、売上高は1,022億円（前回予想比6.6%減）、営業利益は12億円（同12.1%減）、経常利益は14億40百万円（同12.5%減）、当期純利益8億60百万円（同14.0%減）を見込んでおります。

### 3. 配当予想について

平成22年3月期の期末配当金につきましては、平成21年6月25日に公表いたしましたとおり、1株当たり13.00円の配当予定で変更はありません。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上